

競技注意事項

1. 規則

競技は2023年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、申し合わせ事項による。

2. 練習

- 競技場の開門は7時30分とする。競技場練習開放時間は8時から9時45分とする。
- 競技開始前の練習は、競技場の指定された場所（競技場周辺コンクリート、バックストレート付近）を選手のみが行うものとし、マーシャルの指示に従って安全面に十分注意して行うこと。
- 会場への投擲物持ち込みは禁止とし、練習は現地集合後に行う。
- フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。
- ホームストレートのみを使用する種目（100m・110mH・100mH）の競技中、バックストレートを開放する。

3. 競技場とスパイクの使用

- 競技場は全天候型である。
- 使用できるスパイクのピンの長さは、走高跳12mm以下、その他は9mm以下とし、その数は11本以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するものでなければならない。また、ニードルピンの使用は禁止とする。
- シューズ（スパイク・ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）全体の厚さは以下の通り。

トラック種目	800m未満の種目は20mm以内
	800m以上の種目は25mm以内
フィールド種目	
走高跳、棒高跳	20mm以内（かかと含む）
走幅跳	20mm以内（ただし前部が踵部より厚くなってはならない）
砲丸投、円盤投	20mm以内

4. 招集

- 一次招集所は、トラックゴール側出入口に設置する。二次招集は、トラック競技はスタート地点、フィールド競技はピットで行う。
- 招集に遅れたものは棄権とみなし出場を許さない。競技を棄権する選手は棄権届をTICで受け取り、必要事項を記入の上競技1時間前までにTICへ提出すること。
- 一次招集開始及び完了時刻は下記の通りとし、競技者本人が行うこと。

種目	時刻	
トラック種目	競技開始30分前開始	競技開始15分前完了
フィールド種目	競技開始45分前開始	競技開始30分前完了

- トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカード（レーンナンバーカード）を受け取り、右尻部につけること。（リレー競技は第4走者のみ）競技終了後、腰ナンバーカードを外し、ゴール付近のかごに入れること。

5. 入退場

- 一次招集終了後、最寄りのゲートから入場する。また、トラックを横断する時はマーシャルの指示・誘導に従うこと。
- トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に返却する。スタート地点に置いた荷物を取り、各団体の待機場所へ戻ること。
- フィールド競技は、競技終了後に競技役員の指示に従い最寄りのゲートから退場すること。

6. 走路順

トラック競技の予選の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示す。

7. 棒高跳支柱移動申告について

各競技者は、競技開始15分前までに当該審判に自分の希望する支柱の位置を申告すること。もしも競技者がその位置を変更したいときは直ちに当該審判員に申告すること。

8. オープンレーンについて

男女800m競走はブレイクラインの交差する直前の各レーンに黄色の角柱（もしくは代用縁石）を置くこと。〔TR17. 5. 1〕

9. リレー競技について（リレーオーダー用紙はTICに準備）

- リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙に必要事項を記入し、一次招集完了時刻の60分前までにTICに提出のこと。
- リレー競技においてチームの出場者は、デザイン、配色が同一であれば選手によりユニフォームのタイプを選択することは問題ないとする。また、異なるメーカーのユニフォームを着用することも問題ないとする。〔TR5. 1〕
- リレーのメーカーの使用は1カ所とする。〔TR24. 4〕

10. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	
男子走高跳	1m15・40	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	以降5cmずつ
女子走高跳	1m05・25	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	以降3cmずつ
男子棒高跳	1m80 2m50 3m00 3m80	1m80	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	以降10cmずつ
女子棒高跳	1m80 2m50 3m00 3m80	1m80	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	以降10cmずつ

11. 計時について

トラック種目は全てのレースにおいて写真判定を採用する。

12. 不正スタートについて

不正スタートした競技者はすべて失格とする。2023年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則第TR16.5の適用はしない。

13. フィールド競技について

走幅跳、砲丸投、円盤投は3回の試技とする。

14. 用 器 具

- (1) 棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳のポールは本部の公式計測員（技術総務）または、跳躍審判員の検査を受けてから使用する。

15. 抗 議

発表された結果に対する抗議は、正式発表後（15分以内）に各監督がTICを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金10,000円を添えて、担当総務員（ジュリー）に文書で申し出る。

16. そ の 他

- (1) 記録の発表は、アナウンスのみで行う。
- (2) 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難に注意する。
- (3) ゴミについては必ず持ち帰ること。競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。
- (4) 選手の控え場所としては、陸上競技場内トラック外側の芝生のみとする。（トラックに近づきすぎないように注意すること）。競技場外のコンクリートはウォーミングアップで使用するため、場所取りはしない。また、スタンドでの場所取りはしない。
- (5) プログラムの記載事項の訂正については、競技開始1時間前までに、申込責任者がTICへ届け出ること。
- (6) 競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。また、体調が悪くなった選手は医務員の指示に従うこと。
- (7) レースを棄権する競技者は棄権届をTICで受け取り、必要事項を記入の上競技1時間前までにTICへ提出すること。
- (8) 雨天時に備えて各自で雨具の準備をしておくこと。
- (9) 駐車場について
 - ・引率顧問と保護者の駐車場には競技場裏のサッカー場及び野球場の駐車場を利用すること。ただし、駐車場に限りがあるため、できる限り公共交通機関を利用するか、学校ごとにバスで来場する。
 - ・バスで来場する場合は、競技場東側駐車場で乗降し、木更津警察署横（旧木更津市役所）の大駐車場に移動する。乗降については各校で安全確保を確実にを行う。
 - ・路上への駐車や停車は行わないこと。